

「龍伝説」 ハケ池自然公園



小野市初の雨天ドーム

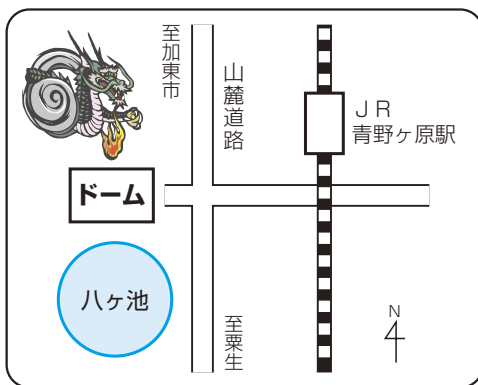
「龍翔ドーム」2/1オープン!!

龍が、人間に生まれかわった「龍伝説」の舞台、小野ハケ池自然公園（河合中町）に、小野市初の雨天ドームが完成、本日、2月1日オープンしました。名称を「龍翔ドーム」と決定、屋根は光を透すテント膜構造で、内部は人工芝を張り、フットサル、ゲートボール、グラウンドゴルフなどのスポーツやコンサートなどにも使用できる多目的施設となっています。（お問い合わせは、公園管理事務所へ。TEL 66-5550）



小野ハケ池自然公園には、龍翔ドームのほか、遊園地、親水池、芝生広場なども整備されています。

（写真は竣工式典での兵庫商業高生による「龍の舞」）



第346回

12月定例会

主な内容

- ・一般質問（3～6ページ）
藤原 健・川名善三・春名良兼・掘井算満
石田喜久男・山中修己・河合俊彦・吉田成宏
- ・議案質疑：鈴木 元、飲酒運転根絶決議（7ページ）
- ・各常任委員会の審査（8ページ）
- ・決算特別委員会意見（9～10ページ）
- ・議員報酬の公表（11ページ）
- ・主な可決議案（12ページ）

第346回12月市議会定例会は、12月1日から12月20日まで、20日間にわたり開催しました。

市から提出された議案は、一般・特別会計補正予算、市議会議員及び市長の選挙運動関係の条例改正、都市公園条例の改正、兵庫県後期高齢者広域連合規約の制定、固定資産評価審査委員会委員の選任など13議案を原案どおり可決・同意しました。

12月定例会

一般質問発言者

藤原 健議員

- ・小野市農業をいかにして守っていくかについて
- ・いじめ・不登校・校内暴力、そして軽度発達障害の対応について
- ・「文教ゾーン」構想と小野中と小野東小について

川名善三議員

- ・すべての住民が暮らしやすい小野市づくり（勝ち残れる自治体）について
- ・AEDの小児への使用について

春名良兼議員

- ・リハビリ治療について
- ・市民税の課税基準について
- ・国民健康保険税について
- ・国民年金の申請免除について
- ・市民病院の医療の現状について

掘井算満議員

- ・保育料の軽減について
- ・防犯カメラの設置と運用管理について

（一般質問・質疑は発言した議員が編集しました）

石田喜久男議員

- ・小野市商工業活性化計画について
- ・家庭教育について

山中修己議員

- ・消防の広域化推進について
- ・シルバリーリーダースクールについて
- ・安全安心パトロールについて
- ・メタボリックシンドロームについて

河合俊彦議員

- ・地域コミュニティ活動支援補助事業について
- ・いじめについて
- ・中心市街地の活性化について

吉田成宏議員

- ・構造改革特区・地域再生計画の認定について
- ・新しい経営所得安定対策について
- ・いじめ対応マニュアルについて

質疑発言者

鈴木 元議員

- ・議案第105号小野市一般会計補正予算（第3号）について
- ・議案第112号小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第114号兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の制定について

実質公債費比率？

■実質公債費比率

総務省が、全国自治体の財政健全度を表す指標として、平成18年度から、新たに採用した数値(%)です。

「これまではどうか？」という、一般会計の起債償還金（借金返済金）の比率を表す指標の公債費比率が用いられてきました。

ところが、地方自治体は、一般会計のほか、企業会計（病院・上水道・下水道など）・一部事務組合などがあります。このため、一般会計に企業会計などを加えた実質的な自治体の借金の負担割合を示したものが、この実質公債費比率といわれるものです。

実質公債費比率が18%を超える自治体は「財政状況はよくない」とみなして、起債（借金）には県の許可が必要としています。

小野市の実質公債費比率は、16.7%であり、財政状況を示す基準の18%以下となっています。

●県内各市の実質公債費比率

芦屋市	26.1%	宝塚市	17.3%
神戸市	24.1%	南あわじ市	17.1%
赤穂市	23.8%	西脇市	16.9%
淡路市	23.1%	小野市	16.7%
養父市	22.1%	たつの市	16.6%
西宮市	21.9%	洲本市	16.1%
川西市	19.0%	加古川市	16.0%
加西市	19.0%	篠山市	16.0%
相生市	19.1%	朝来市	15.7%
三木市	18.7%	姫路市	15.3%
加東市	18.3%	石崎市	15.1%
高砂市	18.0%	尼崎市	14.6%
豊岡市	17.6%	伊丹市	13.7%
宍粟市	17.5%	丹波市	13.7%
三田市	17.4%		

兵庫県市町振興課発表資料

ご意見をお待ちしています。 議会のメールアドレス：gikai@city.ono.hyogo.jp



新生クラブ
藤原 健 議員

質問 いじめ、校内暴力の対応はどうしているか

答弁 今年のいじめ事案には特に危惧しており、教職員の共通理解を徹底するよう指導しました。いじめ問題の解決は、早期発見、早期対応が最重要ととらえ「いじめ問題根絶」の啓発チラシ「ストップ・ザ・いじめ」を発行、学校と家庭の連携による「いじめ追放宣言」を啓発しました。

暴力問題に対する指導方針は、問題行動が起きてから対応するのではなく、平素から危機感を持ち、校内で問題を持つ子どもについての共通理解を行い、情報の共有化を図って、全教員で細かくかかわっていく積極的な生徒支援体制を展開しています。本市独自の取り組みとして、キレイやすい子どもたちの情動をコント

ロールしたり、集中力を持った子どもたちを育成するため、「読み書き計算おの検定」に挑戦させ、前頭前野を鍛えて、積極的な生徒指導を行っています。
(教育長)

質問 「文教ゾーン」としてのKDDー用地買収の見通しはどうか

答弁 当該用地については旧の国際電信電話株式会社が元地権者の黒川町や浄谷町から購入された際に地元の上権や買戻し特約の権利が設定されているなど様々な課題を残しています。

地元、特に黒川町の同意と協力なくしては構想の実現は不可能であることから、様々な意見があるものの黒川町役員の皆様のご協力をお願いしており前向きな話し合いがなされ、本年度中には一定の結論が得られるものと考えています。

(総合政策部長)



公明党
川名善三 議員

質問 乳幼児医療費助成制度の義務教育期間までの拡充について

答弁 小野市は、県下各市町に先駆け小学校3年生まで、所得制限なしの完全無料化を実施しております。平成18年度予算の乳幼児医療費助成事業費は、2億670万円で、財源は、県補助金が4,826万2千円、市が1億5,843万8千円となっています。更に義務教育期間の中学3年生まで拡充すると約9千万円の財源が必要です。

小野市の乳幼児医療費助成制度は、県下においても高水準に位置しておりますが、「乳幼児医療費助成制度の充実」が必要な施策であることは、十分認識いたしております。今後、制度の拡充につきましては、他の福祉施策との均衡や市の財政状況などを総合的に判断しながら、前向きに

検討してまいりたいと考えております。
(市民福祉部長)

行財政改革を進める中、平成19年度予算においては、他市に先駆け小学校6年生までの医療費を所得制限無しの完全無料化に踏み切ることができるように対応いたします。
(市長)

質問 障害者自立支援法施行後における応益負担に対する緩和対策について

答弁 障害福祉サービスとは別枠となる自立支援医療、補装具費及び地域生活支援事業の利用者負担などを含めた、障害者自立支援制度の全体を整理し、特に在宅で障害福祉サービスを利用されている低所得層の方を中心とした負担緩和対策について、19年度予算に反映できるよう、鋭意検討しているところです。

(市民福祉部長)



日本共産党

春名良兼議員

市民税課税基準について

質問 税制改正により「高齢者控除の廃止」「公的年金控除等の縮小」「定率減税の半減」がおこなわれた結果、課税所得が上がり、住民税では「高齢者の非課税措置（所得で125万円以下）」がなくなつたために、課税される人が増加し、市役所などの程度の問い合わせがあつたのか。

答弁 6月13日に納税通知書を発送し、翌日から問い合わせがありました。65歳以上の高齢者非課税措置廃止にかかる説明を求められた件数は把握できていません。その月の3日間で電話の問い合わせが約520件程度、窓口での問い合わせが約270件程度です。（総務部長）

質問 現在、市民税の「激変緩和策」

がなされているが、控除がなくなれば市民負担は増える。2年後の状況はどう変わりますか。

答弁 平成17年度までは65歳以上で合計所得が125万円以下の方は個人住民税が非課税でしたが、この制度が廃止され、現役世代と同様の制度が適用となります。

その際、急激な税負担を緩和するため、平成17年1月1日現在で65歳以上の方で前年の合計所得金額が125万円以下の方は、経過措置で平成18年度では3分の1課税、平成19年度では3分の2課税、平成20年度からは全額課税とする制度が適用されます。対象者は約一千名程度で、税収は市全体で18年度は約170万円、19年度は約340万円、20年度からは本則課税となり510万円の増と推計しています。19年度及び20年度の推計値には、税源移譲に伴うフラット課税による影響額は含んでいません。（総務部長）



新生クラブ

掘井算満議員

保育料の軽減対策

質問 少子化の時代を迎え、国、県市をあげてその対策に取り組みられているが、保護者の子育て負担の軽減を図ることが、最重要視されている。今回、認定こども園制度が新たに設置されたのも、この対策の重要度を示すものと思われるが、市の対策についてお聞きします。

答弁 幼稚園における保育料、保育所の保育料は金額において差を生じていますが、保育の時間、保育内容等を精査しますと、保育料はそれぞれ適正に算定されていると思っております。

認定こども園制度による保育料は施設が算定するようですが、県での条例制定がなされているので基準の詳細に注視したいと思います。

保育料の軽減に対するご意見ご要望は、市長への手紙でたくさん届いており、その内容のひとつに、保育

料算定の所得税額のサラリーマンと自営業の不公平感が強いようです。市としては、現在実施している軽減策と保育所の費用等を市民に十分説明を行っていきます。（市民福祉部長）

防犯カメラの設置と運用管理

質問 公設、私設の防犯カメラの設置が公共の場をはじめとして進んでいるが、その運用管理について、お聞きいたします。

答弁 防犯カメラは犯罪防止を目的に設置されているものが多く、市においても電鉄小野駅などに設置しています。私設のものとしては、量販店等に多く設置されています。現状では法令等の設置基準はありませんが、個人のプライバシーの侵害に結びつくおそれがありますので、多様な検討が必要であり、国・県の情勢を見て、検討していきます。（市民安全部長）



新生クラブ

石田喜久男 議員

家庭教育・親の教育について

19年度以降の小野市

商工業活性化について

質問 「おの総合計画夢プラン2010」における基本施策のまちづくりのためには、基本計画の中にある力強い農業の振興、にぎわいのある商業の振興、活力に満ちた工業の振興の推進は、重要な課題です。残された3年間でこれらの課題にどのように取り組み達成されますか。特に活力に満ちた工業の振興の取り組み計画についてのご所見をお伺いします。

答弁 19年度以降も企業間の連携の推進とリスクテイクが活躍できる環境を整備することで、小野市の発展を支えてきた地域産業の活性化を図り、商工業振興に努めてまいりますと考えています。

(技 監)

質問 家庭教育の充実は、家庭における親が「良き教育者」になることが重要です。家庭教育が果たすべき役割の重要性が高まる中、子育てに不安を抱える親たちに対する「親の教育」について、どのようなご所見をお持ちでしょうか。

答弁 脳の発達する乳幼児の家庭教育の重要性を、家族全員がしっかりと自覚し、協力して子どもの教育に当たることが大切です。

就学前の乳幼児を持つ親に対し、本年度より生後七ヵ月検診ごとに、また幼稚園・保育園については、保護者会の時や特別に研修会を開催して啓発を重ねています。

今後このような教育についても、更に工夫・充実を図り、親の教育を体系化し確立してまいります。

(教育長)



市民クラブ

山中修己 議員

消防の広域化推進について

質問 法で消防の広域化を促進しています。小野市の取り組みについて伺います。

答弁 消防の広域化は、消防組織法の改正で市町消防の広域化に関する基本方針が示されました。概ね人口30万人以上の規模を目標にしています。平成19年度に県が消防広域化推進計画を策定、5年以内に広域化に向けた検討がなされると聞いています。

(助 役)

シルバーリーダーズスクールについて

質問 先日、実施のシルバーリーダーズスクールの反響と今後について伺います。

答弁 高齢者の交通事故防止と地域

の指導者を養成する目的で、11月6日に小野自動車教習所で実施しました。

県下では初めての参加・体験・実践型のマイカー持込での交通安全教室となりました。受講者の9割以上の方が、参加してよかったと言われました。今後も継続して積極的に実施していきます。

(市民安全部長)

安全安心パトロールについて

質問 安全安心パトロールの現状と成果及び将来構想について伺います。

答弁 平成16年度に開始以来、現在三班六人体制(三六)で活動しています。犯罪認知件数が35%減少し、市民との信頼関係の深まり、市民の防犯意識の向上などの成果があったと評価しています。今後、市民の要望もあり、継続と付加価値を高めるために、増員増車を検討しております。

(市民安全部長)



民主クラブ
河合俊彦議員

**地域コミュニティ活動
支援補助事業について**

質問 地域元気アップ活動の状況と評価について、伺います。

答弁 平成18年度の活動団体は41団体で、その活動内容は、「子育て支援活動」「福祉活動」「三世交代交流活動」等があります。

この制度により協働と参画の意識づけができたこと、やりがいや達成感を持つことができ、自分たちの地域を考える機会になる事が大きな効果として評価しております。

(教育次長)

いじめについて

質問 全国で「いじめ」による自殺家庭では「しつけ」と言っけて子供に

暴力をふるい死亡させる事故が多発している。そこで「いじめ」「児童虐待」の実態と対応策について伺います。

答弁 いじめは、小学校では人権を無視した言動が目立ち、中学校では暴言や嫌がらせ携帯電話での中傷メールの報告があります。これは、小学校五・六年生から中学一・二年生の思春期の成長期と比例しているものと考えられます。早期発見、早期対応に努め、人間性や社会性を高め、命の尊さを重視する教育を推進しているところです。

(教育長)

児童虐待は、子供の心身の成長、人格形成に深刻な影響を与えます。関係機関と連携して、早期発見、虐待児童の速やかで、適切な保護を行うことが、重要と考えております。なお、平成17年度に児童虐待として、相談を受付けたのは16件です。

(市民福祉部長)



新生クラブ
吉田成宏議員

質問 認定された地域再生計画とその経済効果について伺いたい

答弁 計画は『拠点づくり』『人・組織づくり』『協働の推進』を3本柱にNPO法人や地域づくり協議会との協働によるまちづくりを進めようとするもので、課税の特例や交付金等の支援はないものの経済効果としては、「うるおい交流館」管理運営の委託によるコスト削減、地域雇用の拡大と、官と民の協働による地域の活力再生という効果が期待でき、「地方から国を変える」全国向け小野市の情報発信のツールと考えています。

(総合政策部長)

質問 いじめ対応マニュアルと今後の方針を伺いたい

答弁 小野市の「いじめ対応マニュアル」は、全教職員で協議し共通理

解事項としてまとめたものです。これは、いじめ問題を脳科学の視点で捉え、脳の前頭前野を鍛えることにより、「情動面」の安定につながり、これによりいじめ問題を根底から防ぎ止できるとし、活用しやすい内容となっております。いじめ問題は、家庭のしつけや親子の会話・触れ合いが大切で、地域全体で子供を育てる運動を展開していきます。

(教育長)

市としては組織面でのいじめを特化した位置づけをします。いじめの行動中にまさに人権問題がある。組織改革を行い市長部局にいじめ担当課を発足させ、子どものいじめだけでなく、高齢者の虐待やDV等人権問題に関する情報収集の一元化を図ります。情報の隠蔽は絶対許されず、怠ればその責任は免れない、子供たちからも直接情報もたらされる受け皿としての新しい役割機能を持たせるために、来年度から組織をフレキシブルに変えることを決断しました。

(市長)

小野市一般会計補正予算について

質疑 特別職報酬審議会経費16万4千円の補正をこの時期にしなければならぬ理由はなにか。

答弁 平成9年以来の開催となりません。市議会議員及び市長等特別職の報酬審議会を開催していただく経費で、答申の結果、改正が必要と判断した場合、来年3月議会へ議案上程を予定しています。(総務部長)

質疑 審議会は、特別職の報酬・給料の引き上げを求めるところと思うが大企業等の好況に比べ、中小零細企業、業者の多くに景気回復の実感はない。労働形態が変わり、パート・派遣社員などの激増によって「働く貧困者」も増えている。また、住民税や医療費など「市民負担」も増えており、今は特別職の報酬・給与を引き上げる時ではない。市民負担の軽減をすべきだ。

答弁 答弁で報酬の引き上げなど一切言っていない。私がかれまで言ってきたのは、報酬と成果が連動する公務員改革。特別職についても同じで、例えばですよ、議員報酬一千万

議案質疑

日本共産党

鈴木 元 議員

円にし、定数10名に減らす。そうすれば仕事を退職してでも挑戦する人が出てくる。特別職改革のねらいもあります。(市長)

後期高齢者医療広域連合
規約制定について

質疑 75歳以上の高齢者を国民健康保険等から切り離し、独立した「後期高齢者医療制度」が平成20年4月からスタートする。県下各市町から一名の議員を選出し「広域連合議会」を組織し運営される。そのための規約の制定だが、住民要求の反映、情報公開等うたわれていないがどうか。

答弁 住民要求の反映では、市民から寄せられた意見を、選出された議員が広域連合議会に反映していただきます。情報の開示では、予算・決算審議が公表されます。関係条例の制定については今後整理される予定です。(市民福祉部長)

交通安全・飲酒運転根絶 市民の願い!!

小野市議会では、交通事故のない、安全安心社会の実現をめざし、交通安全・飲酒運転根絶の徹底をよびかける決議をしました。市民のみなさまと協働して明るい社会を実現しましょう。

◎ 市民とともに飲酒運転根絶に立ち向かう決議 ◎

多発する交通事故、とりわけ飲酒運転は絶対に許されません。交通事故のない、安全安心社会の実現は、日本国民すべての願いであり、小野市民にとっても最も切実な願いであります。

いまま飲酒運転による交通事故が後を絶たずに、尊い生命が奪われるというたいへん痛ましい事故が散見されます。

幸せな家庭を瞬時に崩壊させた飲酒運転交通事故は、国民に強い衝撃と深い悲しみを与えたにもかかわらず、その後もあとを絶つことなく、多くの人命に大きな恐怖と憤りを与えています。

このような悲惨な結末につながる飲酒運転を根絶させるには、家庭・職場・地域が協働して「飲酒運転は、絶対にしない、絶対させない、絶対許さない」飲酒運転3ない環境づくりを推進しなければなりません。

このため小野市議会は、市民とともに交通安全意識の徹底を呼びかけ、飲酒運転を許さない社会の実現をめざして全力で取り組むことを宣言します。以上、決議します。

平成18年12月20日

小野市議会

◎常任委員会審査報告◎

12月定例会で各委員会に付託された案件について18日、総務文教、民生保健、地域振興の各常任委員会を開催し、議案第105号から第116号まで合計12議案について、市当局から詳しく説明を受け、そのあと慎重に審査をいたしました。

○総務文教常任委員会（松本英昭委員長）に付託された4件の議案のうち議案第105号平成18年度小野市一般会計補正予算、小学校施設営繕費についての審査では、「小学校の施設営繕工事の施工にあ

見直しにあたり、県水の購入についても購入単価の減額、購入水量の減少ができるよう県当局との折衝に努力されたい」との意見がありました。議案第114号兵庫県後期高齢者

医療広域連合規約の制定についての議案は、反対討論があり、採決の結果、賛成多数により可決すべきと決定しました。他の4議案については、全会一致で可決すべきと決定しました。

野市の野菜・物産・うまいもんブランド品を販売する施設を増設するためとしているが、とくに販売施設は、商品や新鮮作物が滞ることのないよう十分配慮するとともに、お客様本位の利用しやすい施設となるよう指導に努められたい」また、議案第109号小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「小野八ヶ池自然公園内の多目的ドームの使用料が条例により決められ、高齢者については免除規定も設けられているとしている。免除

たっては、安全に配慮され、授業に支障のないよう工期の設定等に特段の配慮をされたい」との意見がありました。全議案4件について反対討論はなく全会一致で可決すべきと決定しました。

○民生保健常任委員会（竹内修委員長）に付託された5件の議案のうち議案第112号小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「給水人口、一日最大給水量の縮小



営繕工事が実施される小野東小学校



水道お客様センター

「水」のことなら水道お客様センターへ



多目的施設「龍翔ドーム」の全景

などの取り扱いについては、手続を簡便にし、団体や地域の関係者によく説明され、住民の健康保持の施設として利用促進に努められたい。また、交通量の多い山ろく道路に接しているために、進入道路については、一日でも早い信号機の設置を県に働きかけられたい」との意見がありました。全議案4件について反対討論はなく全会一致で可決すべきと決定しました。

17年度各会計を審査

決算特別委員会の意見

委員長に春名良兼議員、副委員長に竹内 修議員を選任した「決算特別委員会」は、去る10月11、12、18日に開催、9月定例会で継続審査とした議案第86号から議案第90号の5議案の審査を行い、議会の持つ批判・監視機能を駆使し、平成17年度予算が適正に、また効果的に執行されたか、今後の予算編成や市政運営にどう反映すべきか、市政・施策をどのように展開すべきかなど、活発な議論を行いました。

このときに指摘のあった主な意見を掲載いたします。

共通事項

◎毎年、各種負担金及び分担金が支出されているが、社会の変化に沿った見直しを行うとともに、関係市とも調整のうえ、ゼロベースの発想で、実必要とするもののみ執行にあたられたい。

総務部

ともに、引き続き、ハードからソフト・福祉重視への転換をより一層図られたい。

総合政策部

◎このたびの景気拡大期間は、一部の上場企業に支えられ、いざなぎ景気を超えたとされるが、好景気の実感に乏しく、個人の給料はむしろ低迷しており、さらに税制改正などによる国民負担が強いられているが、市政においては、市民生活の安定を施策の重点に置くこと

◎自治会市政

連絡事務経費は、およそ8年間単価の見直しがなされていないようであるが、委託業務のあり方も含め単価の見直しを検討

されたい。

◎国際交流共生事業は、年々、より活発な活動がなされ、小野市においても日本人との国際結婚の例も増えてきている。このため市内在住外国人のための法律・生活などの相談業務を含めた、ふれあい交流の場づくりに更に努力されたい。

市民安全部

◎全市クリーンキャンペーン事業は、平成17年度から年2回実施しているが、9月のクリーンキャンペーンには市民から時期が適当でないとの苦情もあることから、実施時期、回数について再度区長会と調整を図られたい。

市民福祉部

◎アフタースクールは市内小学校全8校で実施し、小学校1年生から3年生まで200名余りの児童が利用している。運営方法は各学校により多少違いがあるようだが、児童のために、より良い環境づくりのため、教育委員会との連携を密にされ、より一層魅力的な事業となるよう努力されたい。

地域振興部

◎集落営農活動支援事業は、営農組合へ農機具購入費用を県、市から補助している事業であるが、小野市の農業対策の新施策として市単独で農機具購入補助制度を新たに設置できないか、検討されたい。

議会開催中、 お子さまをお預かりします 3月9日(金)、12日(月)



3月定例議会で「託児コーナー」を開設するのは、議員から市長へ質疑と一般質問がおこなわれる3月9日(金)、12日(月)のそれぞれ10時から正午までの2時間といたします。

1歳から就学前までのお子さまをお持ちの保護者の方が対象です。ご希望の方は、3月2日までに、議会事務局(電話番号63-1006)へお電話でお申し込みください。今回も、託児のお世話をさせていただくのは、託児ボランティアグループ・小野託児サークル「このゆびと〜まれ♪」のメンバーのみなさまです。

(当日、託児の受付はできません。あらかじめお申し込みくださいますようお願いいたします。)

◎産業フェスティバルは、毎年2日間に渡り盛大に催されているが、地場産業へのテコ入れをさらに進めるためにも受託先の商工会議所の意見を聞くとともに、委託料アップについて検討されたい。

市民病院

◎先ごろ、都内の病院で、抗生物質が効かない多剤耐性緑膿（りよくのう）菌（MDRP）に感染したがん患者4人が死亡したと報じられた。MDRPは台所などの水回りに生息する緑膿菌の一種で、免疫力が低い入院患者らが接触で感染する。感染すると、抗生物質が効かないため肺炎や敗血症を発症して死亡する例もあることから、院内感染対策を早急に講じられたい。

水道部

◎下水道の水洗化率は現在、87・6%となっており、水洗化人口は前年度に比べ1,379人増加し37,226人となった。今後、



安全安心パトロール員による美化活動



新選挙管理委員会・監査委員事務所



市民病院に設置の最新型MRI

下水道事業は、企業債の償還が増え続け、平成22年度がそのピークとなる。この間、一般会計からの繰入金も増加となることから、水洗化率をかぎりなく100%に近づけるよう努力されたい。

選挙管理委員会

◎選挙用ポスター掲示板は、いつもその場所にあるものとして、現在200箇所に設置されているが、多くの市民に見てもらえることが大事であることから、地域の現状

教育委員会

◎日本経済はいざなぎ景気を超える好景気が続いているとされるが、就学援助を受けている要保護・要保護家庭が年々増加している。引き続き、要保護家庭の児童・生徒のプライバシーに配慮しながら、要綱の規定による適切な対応をすすめられたい。

などに合わせて設置場所の変更も配慮されたい。

◎最近、学校で連日のようにいじめを苦にした自殺が報道されている。児童生徒の日々の行動のなかには何らかのサインを発しているものであり、これを見落さないためにも、早期発見マニュアルの補完に努め、学校は、守るべき命の意義の重大さに常時目を開き、心で感じ取れるようとくと配慮されたい。三日間の審査の過程で、各委員から発言がありました意見・指摘・要望の主な事項です。これからの市政運営にあたっては、議会の意思を尊重し、「もっとと変えよう小野、もっと変わる小野市」の理念の下に、活力ある発展と市民福祉の向上に努められ、魅力活力個性に富んだ「21世紀に雄飛するエクスレントシティおの」の実現をめざして力強く市政を展開されるよう望むものであります。これら5件の議案については全会一致でもって、原案の通り認定すべきと決定しました。

訃報



小野市議会民主クラブの横山四郎議員（粟生町・65歳）が、去る12月19日に急逝されました。

横山議員は、昭和16年生まれで、平成3年に市議会議員に初当選、以後連続4期、15年7ヶ月間務められました。

議長、副議長、監査委員、公共施設整備・新都市開発特別委員会委員長、予算・決算特別委員会委員長、総務文教・民生保健常任委員会委員長を歴任、また、平成15年には、兵庫県市議会議長会会長に就任されるなど、市政の進展に大きく貢献されました。

ここに、生前のご功績をしのび、心からご冥福をお祈りいたします。

市議会議員の報酬を公表します

小野市議会議員（1人）

- ・報酬（年額）4,908,000円（月額409,000円）
- ・期末手当（年額）1,988,403円
*期末手当は、5%（104,654円）削減した額です。
- ・計（年額）6,896,403円

（小野市職員（平均年額）6,946,000円 資料：H18 普通会計予算 広報おの1月号）

- *議長は、報酬（年額）6,336,000円（月額）528,000円
期末手当（年額）2,566,938円（5%削減後）
計（年額）8,902,938円

- 副議長は、報酬（年額）5,388,000円（月額）449,000円
期末手当（年額）2,182,871円（5%削減後）
計（年額）7,570,871円

市民のみなさまに、市議会議員の報酬を公表します。報酬は、月ごとに、期末手当は、6月と12月に分けて支給されます。そのほか、議員の調査研究として、政務調査費が議員一人年額12万円、常任委員会の研修として、議員一人年額10万円が支給されています。議長、副議長、議員の期末手当は、5%削減を実施しています。

下記の表は、神戸市と小野市が所属している東播・淡路市議会の報酬を調査したものです。報酬、政務調査費は、阪神間が高い数値を表し、合併して間もない淡路市、加東市の政務調査費の予算はゼロとなっています。

◎ 神戸市・東播・淡路地区市議会議員 報酬等調べ ◎

	議員数	報酬(月額) A	期末手当(年額) B	A × 12ヶ月 + B	政務調査費(年額)
神戸市	72人	930,000円	4,966,200円	16,126,200円	4,560,000円
明石市	31人	656,000円	3,503,040円	11,375,040円	1,080,000円
加古川市	33人	580,000円	3,097,200円	10,057,200円	840,000円
高砂市	24人	522,000円	2,322,900円	8,586,900円	300,000円
三木市	20人	423,000円	2,164,702円	7,240,702円	120,000円
小野市	18人	409,000円	1,988,403円	6,896,403円	120,000円
洲本市	22人	405,000円	2,026,012円	6,886,012円	150,000円
西脇市	20人	390,000円	1,973,400円	6,653,400円	44,500円
淡路市	28人	385,000円	1,863,400円	6,483,400円	-
南あわじ市	28人	385,000円	1,842,225円	6,462,225円	150,000円
加西市	18人	369,000円	1,790,756円	6,218,756円	100,000円
加東市	20人	350,000円	1,791,125円	5,991,125円	-

*平成18年7月調査、議員数は現在の条例定数。

●今期市議会で可決された主な議案●

市長提出議案

- ・平成18年度小野市一般会計補正予算（第3号）
 - 白雲谷温泉整備事業 1,220万円
 - 粟生駅周辺整備事業 950万円
 - 集落営農活動支援事業 247万円
 - ため池等整備事業 320万円
 - 小学校施設営繕費 300万円
- ・平成18年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市白雲谷温泉ゆびかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- ・兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の制定について
- ・兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について
- ・小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について
- ・小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について

粟生町 山崎雅司氏（再任）
中 町 伊藤俊博氏（新任）

意見書

- ・市民とともに飲酒運転根絶に立ち向かう決議（可決）

質疑、一般質問があります。

本会議の第2日、第3日は、議員の

3月26日(月)	本会議第4日
3月23日(金)	各常任委員会
3月20日(火)	予算特別委員会
3月15日(木)	予算特別委員会
3月14日(水)	予算特別委員会
3月12日(月)	本会議第3日
3月9日(金)	本会議第2日
2月28日(水)	本会議第1日

3月定例会の日程が決まりました。

3月定例会日程

◎議会の動き◎

【11月】

- 1日 静岡県牧之原市議会視察受け入れ
- 6日 兵庫県市議会議長会正副議長研修会（神戸市）
- 7日 宮城県柴田町議会視察受け入れ
- 13日 総務文教常任委員協議会
- 14日～15日 東播淡路市議会議長会正副議長研修会（山口県下関市）
- 16日～17日 全国市議会議長会基地協議会理事会（東京都）
- 17日 和歌山県田辺市議会視察受け入れ
- 19日 175号西脇北バイパス起工式
- 20日 長野県木曾町議会視察受け入れ
- 21日 都市計画審議会
- 22日 北播政経懇話会（加東市）
- 23日 洲本市誕生記念式典
- 24日 議会運営委員会、議員協議会
- 28日 北播衛生事務組合定期事務監査

【12月】

- 1日 本会議（第1日）
- 4日 北播衛生事務組合議会
- 5日 小野加東広域事務組合議会
- 13日 本会議（第2日）、議会運営委員会
- 14日 本会議（第3日）
- 18日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
- 20日 本会議（第4日）

【1月】

- 10日 東海3縣市町議会議員視察受け入れ
- 11日 東播淡路市議会議長会事務局長会（加古川市）
- 12日 議会運営委員会、市議会報編集委員会
- 16日 民生保健常任委員協議会
- 18日 東播淡路市議会議長会総会（加古川市）
- 19日 総務文教常任委員協議会
鳥根県奥出雲町議会視察受け入れ
- 22日 千葉県柏市議会視察受け入れ
- 30日・31日 議会運営委員会視察研修

■3月定例会も託児コーナーを開設します。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。